

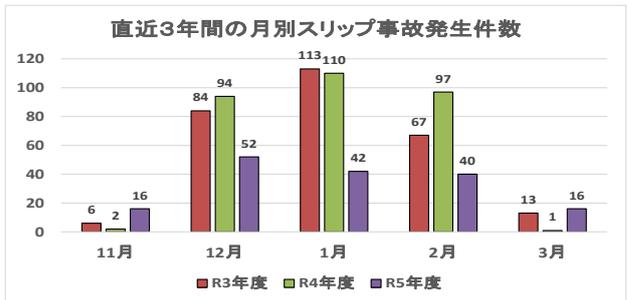
# 青森県内における昨冬のスリップ事故発生状況

交通 部  
交 通 企 画 課

令和5年11月から令和6年3月末までの間に、青森県内で発生したスリップ事故は、  
 ○ 時間帯別では、午前8時台が最多で26件（15.7%）  
 ○ 通行目的別では、通勤が最多で65件（39.2%）  
 ○ 事故類型別では、追突事故が最多で94件（56.6%）  
 などの特徴がありました。  
 冬道を運転する際は、  
 1 夏場比べて、**スピードを落とす**  
 2 路面乾燥時に比べて、**2倍以上の車間距離を保つ**  
 3 いつもより**早めに出発する**  
 4 急ブレーキや急ハンドルなど、**急のつく動作を控える**  
 ことを心掛けましょう。  
 ※ スリップ事故とは「圧雪凍結路面等のため、制動距離が長くなったり、進路が左右方向に変化した事故」をいう。

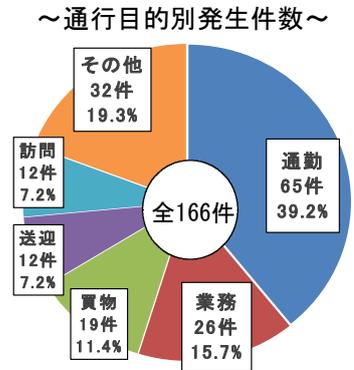
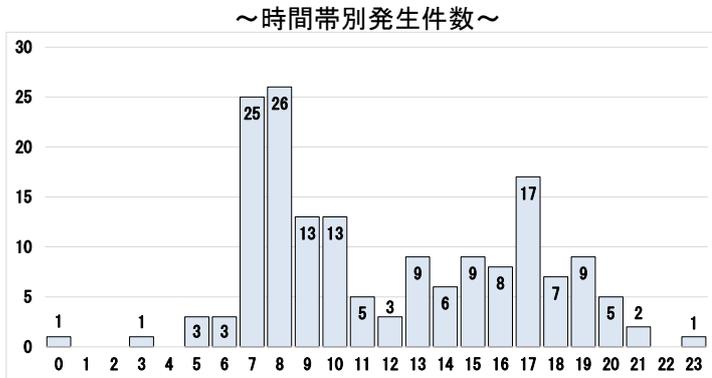
## 1 自動車運転者が第1当事者の交通事故とスリップ事故発生状況（令和5年度）

発生年度	令和5年度					計	
	令和5年		令和6年				
発生年	11	12	1	2	3		
自動車運転者が第1当事者の交通事故	発生件数	254	262	181	180	155	1,032
	死者数	6	6	5	3	1	21
	負傷者数	295	316	208	221	187	1,227
うちスリップ	発生件数	16	52	42	40	16	166
	死者数	0	0	3	0	0	3
	負傷者数	26	69	52	54	22	223
スリップ構成率	発生件数	6.3%	19.8%	23.2%	22.2%	10.3%	16.1%
	死者数	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	14.3%
	負傷者数	8.8%	21.8%	25.0%	24.4%	11.8%	18.2%



## 2 時間帯別スリップ事故発生件数（令和5年11月から令和6年3月末までの間）

スリップ事故の時間帯別発生件数を見ると、午前8時台が26件（15.7%）、午前7時台が25件（15.1%）で、出勤時間帯の発生が多い。通行目的別では、通勤が最多で65件（39.2%）である。



## 3 事故類型別スリップ事故発生件数（令和5年11月から令和6年3月末までの間）

スリップ事故を事故類型別にみると、「追突」が最多で94件（56.6%）と突出している。

また、追突事故の違反別発生件数は、「安全速度」が最多49件（52.1%）で、次いで「ブレーキ操作不適」が36件（38.3%）である。

